

2023.07.09.永遠の報酬 Mac 牧師

天のお父様。主よ、今朝、私たちは御前に来ます。私たちの心を調べ、思いを研ぎ澄まして下さい。

主よ、今朝、私たちを御言葉を受け入れるよう整えて下さいますか？ 主よ、あなたの御言葉に感謝します。とても重要で、力強く、人生を変えます。主よ、マック牧師が立ち上がり、あなたが召されたことができるように、強さと勇気をお与え下さい。イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。

おお、主を讃えます。主を讃えます。ご着席ください。聖人で、罪びとの皆さん、おはようございます。

— (笑) — 私たち全員ですよ。— (笑) — 罪びとなのだけれども、聖人であることを祈ります。まあ、そういうことです。J.D.ファラグ牧師に代わって、ようこそ。再び、日曜日ここ、カルバリーチャペル・カネオへに来て下さり歓迎します。ライブ配信に参加の皆さんもです。明らかに、彼はここにいません。市外から来てくださっているかもしれない皆さん、あなたの情報を残していただけたら、彼にあなたの訪問を伝えます。おそらく電子的な手段で、近い内に、あなたに連絡するでしょう。しかし... ご心配なく。なぜなら... J.D.牧師は、まもなく帰還！ (スターウォーズ6 ジェダイの帰還参照) — (笑) — 私はこれをしなければならなかったんです。— (笑) — したかったんです。— (笑) —

彼は私のことを怒るだろうけど、いいんです。J.D.牧師、神の御言葉に従って、あなたは私を許さねばいけませんよ。— (笑) — ね？ 笑いは魂にいいものです。彼は、神の御心なら、今週木曜日に戻りますよ。「エゼキエル書」再開です。来られる方、彼に温かい歓迎をお願いします。アーメン！

木曜日の夜の聖書の学び、書ごと、章ごと、節ごとを再開しましょう。次回の祈り会は、8月1日ここ礼拝堂で、夜7時からです。可能なら、是非いらっしゃって、一緒に祈りましょう。日ごとに邪悪さを増すこの終わりの日、一体となつての祈りが非常に必要です。祈っても祈っても足りません。ですから、是非いらっしゃって祈りましょう。ぜひご一緒しましょう。それでは。日曜日、私たちは2つの礼拝があります。これは第二礼拝です。今朝の第二礼拝は、「第二コリント人への手紙5章10節」の1節に皆さんをお連れしたいと思います。可能な方は、朗読するためご起立ください。今朝の聖書箇所を読み、それから祈ります。可能な方は、朗読するためご起立ください。今朝の聖書箇所を読み、それから祈ります。再度、「第二コリント人への手紙5章10節」です。神の御言葉はこう書かれています。

— IIコリント 5：10 —

私たちはみな、善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座の前に現れなければならないのです。

一緒に祈りましょう。今朝の神の御教えに主の祝福をお願いします。天のお父様、再び、主よ、あなたというお方に心から感謝します。偉大なる公正な審判者。あなたの恵みの御座の御前で私たちが心を低くし、姿勢を整えるこの時間、私たちとお会いして下さいますように。私たちに理解をお与えください。そうすれば、私たちは出ていき、あなたのためのより良い証人になれます。主よ、すべての雑念を取り除き、私たちの思いを研ぎ澄ませてください。そうすれば、あなたが語られることだけに集中できます。あなたが仰る事だけに。今朝ここでなされるすべてにおいて、あなたに栄光が帰されますように。

私たちはあなたを愛しています。あなたを本当に讃えます。救世主イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。そうなりますように。どうぞ、ご着席ください。第二礼拝の説教のタイトルは「永遠の報酬」です。「肉欲に打ち勝つキリスト」「光を輝かせる」「私たちの救いは引き離されることは不可能」「永続的・たゆまぬ聖化」の説教の後、主が今、適切だとお考えなのは、この人生での働きが無駄ではないと私たちが知ることです。この審判が深刻であればあるほど、真理の中でその全目的を知ることが、私たち

皆への動機付け要因となるはずです。私がそう言う理由は、自分がこの裁きの全てを理解する前、この辛辣な問題直面が自分にとってどうなるかを考えることしかできませんでした。すべての考え、すべての無駄な考えや発言が記録されていると思うと、私は崩れ落ちました。主は、ご存知です。心のあらゆる動機、体とするあらゆる行いを。欺瞞に満ちた、どうしようもなく邪悪な心で、どうやってキリストの裁きの御座の前に立つことができますか？ 私は何の善をしてきたか？ 主ご自身が、こう言われる時、「善を行う者はいない。だれ一人いない。」(詩篇14:3参照) 救われるのは神だけです。ですから、この裁きの御座に対する私のイメージはこうです。「私はそこにいたくもない。...提案します。主よ、取引しましょう。私を天国の一番低い所において、たまにマナのかげらを落として下されば、—(笑)— それで、いいです。私はこの裁きを受けたくありません。それが何かについて無知だったからです。」

それから主は私に、この裁きはキリストにあって私たちの行いに対する報酬を与えることでもであると啓示されたとき、私は反対側に行き、私のイエスのためにできる何でもあらゆることを探し始めました。そしてしばしば、独りよがりの義に走り大惨事に終わりました。何をしても無駄、無駄でした。それから、私がようやく気付き始めたのは、善の唯一の源である神を求めずに、私たち自身で良い行いは、探すことはできないということです。私たちの善は、主のご栄光のために、主によってのみ、もたらされます。そうでない場合は、神の御業のご領域では、無益です。永遠の報酬を稼ぐ。しかし、その獲得方法の自己生成はできません。ついてきていますか？ 会衆：はい。それらは自己生成できません。これが私が格闘せねばならなかった点です。私は行いたかったけれど、主が主のご方法を私に許されるまでは何もできませんでした。これが決定的な違いです。それは、こんにちも続く辛いプロセスの始まりで、日々、主の御言葉によって自己を吟味し、主によって不要なものを取り除かれる事。もし、あなたがまだその主による剪定の経験をしていないなら、問題です。それは現在進行形のプロセスです。その中で、気づいたのは、主がすでに私を神の恵みへと導かれたなら、主が望まれる場所に私を導かれるという信仰を持たねばならない事。主は私を召された目的のために続けられ、その目的が何であれ、私はそれを果たさねばなりません。目的とは、それ自体が報酬だと知ってください。神に召された自分の目的を知れば、不平は出ません。特に、その背後にある詳細を知ると。「ヘブル人への手紙 11章6節」は、よく知られた箇所ですね。神の御言葉はこう書かれています。

— ヘブル 11:6 —

信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。

これが分かりますか？ この節の最後の部分がしばしば見落とされるのがわかりますか？ 主は、誰に報いてくださる方なのか？ 主を熱心に求める者に、です。キーワードは「熱心に」です。「私たちがうわべだけなら？」そんなことは書いていません。報酬は、熱心に求める事から生じます。それが違いを生みます。それが私たちの人生における神の目的と知ってください。神が、私たちの人生に目的を置かれるとき、それが神の御言葉と矛盾すること決してないからです。

「神はこれをするようにと言われたけれど、それが聖書の他の箇所と矛盾する」は、あり得ません。そうは機能しません。それは、あなたの考えです。神のお考えではありません。ですから、主の許可を頂き、キリストの裁きの御座を見て、それに関連する全体的な関連事項を説明します。それから、見過ごされているいくつかの報酬について見てみましょう。見過ごされています。私たちは毎日、見過ごしていると思います。それから、聖書が語る5つの冠と、主は、御霊の力によってそれを獲得した者に報いてくださる

事を見ていきます。それでは、再度今日の箇所です。神の御言葉はこうです。

ー II コリント 5 : 10 ー

私たちはみな、...

使徒パウロは自分自身も含めて語ります。私たちはみな、...善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座の前に現れなければならないのです。私たちはみな、...善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座の前に現れなければならないのです。さて、皆さんのほとんどがご存知のように、この裁きは、救いには関係ありません。もしもし？ 会衆：アーメン。OK。私たちが同じページにいることを確認してください。この裁きは、私たちの救いとは何の関係もありませんが、しかし、この裁きはすべて、私たちがキリスト者となってからどのように生きてきたかに関係します。皆さん、ついてきていることを願います。私がキリストのもとへ辿り着いたときにこのことを本当に知り理解していたら、あるいはこのことを調べる心さえ持っていたら、と願いました。特にこんな重大な質問、

「私が死んだ後、本当に何が起きますか？」本当に起こることは何か？ 再度、理由は、第一礼拝の学びの通り、「死んだら、天国に行きます。」「おお、はい。天国に行くんですね。キリストによって。問題ありません。これで一件落着。」

いいえ、一件落着ではありません。おお、違いますよ。あることが行われます。ちょうどここに記されている。それが、起こります。私たちは一度死ぬように定められており、それから、裁きがあります。

(ヘブル 9:27 参照)

多くの人々は、これが携挙の際に起こると信じています。全員がキリストの御前に立ちます。では、先ほど話したように、無意味な言葉や思考によって裁かれ、私たちのすべての行動が裁かれます。しかし、おそらく次のスライドは、私たちの肉体や行動内の範囲で、裁かれるとても短いリストです。この裁きをもっと身近に感じていただきたいのです。私たちは、他の信者にどう接するかで裁かれる。

(ヘブル 6 : 10、マタイ 10 : 41 ~ 42)

私たちは、主から与えられた能力をどのように使うかによって裁かれる。

(I コリント 12 : 4 & 11、II テモテ 1 : 6)

私たちは、お金をどう使うかで裁かれる。

(II コリント 9 : 6 ~ 7、I テモテ 6 : 17 ~ 19)

私たちは、時間をどう使うかで裁かれる。

(詩篇 90 : 12、エペソ 5 : 16、コロサイ 4 : 5)

それは、大きい(重要)です。

私たちは、その権威をどう実践するかで裁かれる。

(ヘブル 13 : 17、ヤコブ 3 : 13)

特に、指導的立場にある者です。それ(権威)を、あなたの有利のために使役しますか？ あなたは人々を支配していますか？ 私たちは奉仕者であるべきです。

私たちは、イエスのために、どう苦しんだかで裁かれる。

(マタイ 5 : 11 ~ 12、ローマ 8 : 18)

私たちは、主が私たち一人ひとりに与えられる道に、どう従うかで裁かれる。

(ピリピ 2 : 16、ヘブル 12 : 1 ~ 2)

このほかにも、私たちが裁かれることになるもっと重要な分野に関連する聖句があるでしょうけど、でも、ポイントがわかることを祈ります。言い換えれば、私たちの人生で審査されない分野は一つもありません。これは私たち皆が、意識を醒ますべき事柄なのです。そう、これは律法主義でもありません。違います。ここに規則のリストはありません。聖霊にしてください。私たちはそれを、しばしば拒絶します。そこが問題です。こう言うのが大好きなクリスチャンがいます。

「天国に行けるだけで光栄です。いわば扉をくぐれるだけで嬉しいですよ。」

まあ、私もある意味、天国に行けるだけで嬉しいですが、しかし、それが最も偉大な愛に応える方法ですか？ それは筋が通ってますか？ ぶちまけるつもりでしたが、止めておきます。－（笑）－

悲しいことに、私たちが救いのみを決意する主な理由のいくつかは、私たちは、放棄しているその報酬の重要性を理解していないか、あるいは、私たちが今生きている人生が、私たちが今現在ここで生きている人生が、将来の千年王国で意味を持つことを理解していないからです。それは 1000 年という期間です。どうでしょう？ その間に何が起こると思いますか？ 私たちは誰に仕え、治め、統制するのか？ ご存知ですか？ その方の名前をご存知ですか？ 会衆：はい。では、その時はそうして、今は拒否するのですか？ 本当に考えていますか？ 70 年、80 年、あるいは 90 年以上の私たち自身の歳月。120 年以上はありませんね。その歳月をそのように過ごすのですか？ 1000 年あるんですよ。今のこの時が、その時私たちが何をするかを決定します。あなたはどうか知りませんが、このことは、私の態度を変えました。ここにあるものはすべて過ぎ去ります。ですから、イエスは、「天に宝を蓄えなさい」と仰るのです。それを行うための優れた方法は何かご存知ですか？

「まず神の国と義を求めなさい。」(マタイ 6：33)

その御言葉に収められている事は、神のために生きる方法を私たちに教えています。神のために生きることで、主は私たちに報酬を稼ぎ、冠を得る機会を与えてくださいます。私たちが多くの場合、見過ごしてしまう報酬をいくつか見てみましょう。「マタイの福音書 6 章 3 節～4 節」神の御言葉はこう書かれています。

－ マタイ 6：3 －

あなたが施しをするときは、右の手がしていることを左の手に知られないようにしなさい。

－ マタイ 6：4 －

あなたの施しが、隠れたところにあるようにするためです。そうすれば、隠れたところで見られるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。

ついてきてますか？ ご存知です？ 主を褒め称えます。このミニストリーには、このことを心から守っている忠実なしもべがいます。それは私にとって驚くべきことです。彼らは、奉仕活動について表に出しては、ほとんど何も言いません。彼らはそれについて語らないし、まったく言い触らしません。あなたは、このような人たちがいることに驚くでしょう。彼らは天に宝を蓄え、心は正しい場所にあります。御言葉が語るように、今、主が彼らをどのように祝福されているかを示すからです。このことは、ミニストリーにとって大きな挑戦となります。多くの教会は、自分たちが助けたすべての人々を言いふらすのが大好きだから。全てのそういう組織は、金額が背後にあり、自分たちがしてきたことを人目に付かせる。神の御言葉はどう仰っていますか？「あなたがラッパを吹くなら、その報いを受けます。(マタイ 6：2 参照)

もうわかったから。おめでとう。わたしがあなたに何をしたのか、あなたは想像できないでしょうから。

でも、あなたはそれを望んでいる。人々にわたしではなく、あなたを見てほしいのですか？ 問題ありません。あなたはその報いを受けます。」それは私たち個人も同様です。奉仕への神の報酬は、密かに行うことによってもたらされます。チャールズ・スポルジョンは、この点で嘲笑されていましたね。

私が正しければ、彼はニワトリをたくさん飼っていて、決して誰にも卵をただであげない。その卵の代金は払わなければならなかった。彼は決して無料で譲りませんでした。「いや、この卵の代金は払ってもらおう。」人々は彼を非難の目で見ました。「誰それがお腹を空かせているなら、あなたがたが彼らを助けなさい。卵の値段は、これです。」1ペニーか何か。彼はずっとそれを貫きました。彼の死後、分かったことは、そのために生み出されたお金はすべて、高齢者や未亡人を助けるためでした。神はご存知です。私たちは、原理原則に従うだけです。(マタイ5章じゃなく)6章でしたか？ おお、ごめんなさい。誰かに正してもらいました。「マタイの福音書6章3節～4節」、おお、大変失礼しました。すべてのスライド、皆さん自身で確認したほうがいいですね。－(笑)－ 私が何を言っているかわかりますね？ 自分で確認してください。1つ、2つ、3つ間違うかもしれません。わかりません。ちなみに、あなたへのテストですからね。よくできました！ あなたは、宝を獲得しました。－(笑)－

それでは、「ルカの福音書」...ご確認ください。6章35～36節、神の御言葉はこう書かれています。

－ ルカ 6：35 －

しかし、あなたがたは自分の敵を愛しなさい。彼らに良くしてやり、返してもらうことを考えずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの受ける報いは多く、あなたがたは、いと高き方の子どもになります。いと高き方は、恩知らずな者にも悪人にもあわれみ深いからです。

－ ルカ 6：36 －

あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くなりなさい。

おっお...さあ、聖人たち。宝を獲得するんですよね？ どうやって？ おお、自分の敵を愛す。おっ、どうしました？ －(笑)－ 報酬を得たくないですか？ ああ、パスします。－(笑)－

でも、これがわかりますか？ 悲しいことに、私たちの多くは自分の家の者さえ愛せません。彼らは、私たちの憎むべき敵になってしまいました。とても悲しいことです。イエスは「あなたの報いは大きい。」と言われるでしょう。私たちは自分自身を乗り越え、敵に愛を示せますか？ それとも、私たちは、感謝されない人たちに対して高慢になりすぎ、自分の感情のせいで、このような偉大な報酬を手放そうとするのですか？ ♪ フィーリング/感情 ♪ でしょ？ [会衆:応える。]主を褒め讃えます！ あなたは、天に宝を蓄えていると確信します。これは苦役であると知ってください。厳しいです。簡単じゃないです。理解ください。イエスが言われることは、私たちが騙されやすく無知になる事ではありません。いいえ、全く違います。敵だとわかっている人たちに対処することです。その多くは自分の家にいるかもしれませんが。私たちに對する敵だけでなく、感謝もせず邪悪なまま操ろうとする神に敵対する敵もいます。しかし、これにもかかわらず、神の理性と見極めで、私たちは彼らを助け、見返りを求めず彼らに善を行う。これを行うのが最も難しい方法のひとつは、人間関係の中にありますね？ おっお～怒っているときは何もしたくないからです。－(笑)－ 特に、何かをして、その見返りが期待できないとわかるときはそうですね？ それが、ここです。返してもらうことを考えず、良くしてやりなさい。あなたがたの受ける報いは大きいのです。これは厳しいです。大変難しいです。しかし、一旦それを行って今ここで主が報いられるのを目の当たりにし、将来のために天に宝を蓄えていると知れば、時と共に、それは容易なプロセスとなります。その人たちの幾人かは、あなたが打ち砕かれても大丈夫なのを目にしあなたがどう

いう者かが分かるので主の光を見ます。考えておくべきことです。私たちの御父が憐れみ深いように、これは驚くべき慈悲の現れです。これを確認ください。クリスチャンとして、私たちには憐れみがありますね？ 誰かがふらふら歩むのを見ると、彼らにはあるべき熱意がないと心の中で思いますね？ 相手に腹を立てる代わりに、こう言ってください。「あなたのために祈り、あなたを助けます。私はあなたのためにベストを尽くし、何も見返りは要りません。」「コロサイ人への手紙 3 章 22 節～24 節」に記されています。神の御言葉はこうです。

— コロサイ 3：22 —

奴隷（しもべ）たちよ、すべてのことについて地上の主人に従いなさい。人のご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、主を恐れつつ、真心から従いなさい。

— コロサイ 3：23 —

何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。

— コロサイ 3：24 —

あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

私たちは、報いから偉大な報いへ移り、「報いとして御国を受け継ぐ」のです。私たちは、神の御言葉がこれらの報酬をどう示されるか聞いていますか？ 神は、報いについて一般的なことは全く言われません。主はすべてをご存知で、それをやり抜くことがどれほど難しいかを知っておられるからです。しかし、主は私たち一人ひとりに、いわば動機を与えられます。この中にそれが見えますか？ これは「奴隷」について語っています。当時、彼らが何を耐えねばならなかったか想像できますか？ ここで私たちは、大変厳しい働きをしています。働くのは、とにかく厳しくて、何も進歩がないように思えます。しかし、神があなたをそこに置かれ、あなたはそれを知っています。そうでしょ、マティ？ ごめんね。—（笑）— 神があなたをそこに置かれました。他のすべてが閉ざされ、それが開き、あなたはそのため祈り、そして今、その中にいる。おお、リーダーシップは挑戦です。しかし、主は理由があられ、あなたをそこに置かれたのかもしれませんが。これはしばしば、主が確実に他の選択肢をなきものとしたとき確証されます。こういった場合、私達は時にリーダーシップに挑戦せねばならなかったり、また別の時には平安を保ち、又はその両方を兼ね備えねばなりません。自分が気に入らないから離れる事は、主のご方向というより、自分の選択の可能性が高いです。ですから、このような立場にあるかもしれない人たちは、それについて祈ってください。でも、主より前には行かないように。再度、主は確かに理由があつてあなたをそこに置かれたのかもしれませんが。その反面、夢のような仕事をオファーされても、主に仕えるよう召されている人もいます。「第二テモテへの手紙 2 章 3 節～4 節」に書かれていることを考えるべきです。神の御言葉はこうです

— II テモテ 2：3 —

（パウロがテモテへ語ります）キリスト・イエスの立派な兵士として、私と苦しみをともしてください。

— II テモテ 2：4 —

兵役についている人はだれも、日常生活のことに煩わされることはありません。ただ、兵を募った人を喜ばせようとします。

覚えていますか？ 先週の日曜日話した、この若い牧師は、牧師をやめたいので言います。「私は自分の人

生を歩みます。」おお、もはやあなたの人生ではありません。おお、違います。彼はキリストの兵士として召されました。そのおかげで、それが他の何よりも勝った。このミニストリーにはもう一人、会社の共同経営者になれ得た兄弟がいます。彼の会社はかなり大きな規模の会社です。彼はそこにおいて、上層部でした。2、3年後には、取締役会の一員やもっと上のレベル、あるいは5年から10年のうちに、副社長になっていたかもしれません。しかし、彼はミニストリーに召されました。彼はその召しに従いました。神は、彼を祝福され、報われ、こんにちも、そうし続けておられます。次に進むにあたり、これらは私たちが見落とす報いのほんの一例であることを忘れないでください。聖書に目を通してください。至る所にそれらが見つかります。

質問です：これらの報酬を見過ごすなら、どうやって、主が約束された冠を得るようなレベルの行いを期待できると言えますか？

考えてみてください。たとえを見るとき、読むだけでなく、私たちに示された道としてそう行うように祈ります。主のために生きる方法があるからです。

主は、私たちが小さなことに対処できたら、より大きなことを与えると仰います。(ルカ 16:10 参照)しかし、小さなことに対処できないなら、なぜより大きなことを与えられると思うのですか？ ER (救急救命室) とかにいる外科医が手術をしようとしているときの CM が気に入っていて、彼が、「私は医者じゃない。モートル6に泊まってました。」って感じでしょ。人々が彼を見て、「何て？」です。でも、つまり、なぜ私たちはこう考えるのか？ 神は....主は、御言葉で仰るのと同じように私たちにそれを示し、対応できないと。しかし、私が見受けるところでは、これに関して私たちが期待するものは異なります。私たちは、主がこう仰るように歩まねばなりません。

「あなたは忠実な僕です。これが千年王国でのあなたの地位です。」

しかし、こんにちの教会はぶっ飛んでいます。ずっと同じことをして、走り回っている。完全にメチャクチャです。全くあるべき姿ではありません。再び、ある者はより多く、ある者はより少なく、ある者はドアまで歩いて来て、「今、来ました。うわ、おっと！」 — (笑) — 私たちのことではないのを祈ります。しかし、聖書に基づいて、主の5つの冠を明らかにします。

「朽ちることのない冠」

「喜びの冠」

「義の冠」

「栄光の冠」

そして、「いのちの冠」

これらすべては、イエスご自身が報いられます。再度、聖霊の御力によってそれらを獲得した者たちに対してです。私は何度でも言います。私たちは、これらに関連する働きをでっち上げることはできません。その方法では機能しません。しかし、多くのクリスチャンは、これらの冠をただの象徴に過ぎないと見過ごします。多くの牧師が、それを素通りします。「ほとんど価値はありません。冠があるのですか？ はい、冠ね。」私にとって、それは大きな間違いです。それが無知ゆえだと思います。私は神の御言葉に基づき、これらの冠があなたや私の想像を遥かに超える重みがあると、心から信じます。これらの冠について、聖書は何と語っているか、まず「朽ちることのない冠」から見てみましょう。「第一コリント人への手紙 9章 24節~27節」、神の御言葉はこうです。

— Iコリント 9:24 —

競技場で走る人たちはみな走っても、賞を受けるのは一人だけだということを、あなたがたは知らないのですか。ですから、あなたがたも賞を得られるように走りなさい。

— Iコリント 9：25 —

競技をする人は、あらゆることについて節制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが、私たちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです。

— Iコリント 9：26 —

ですから、私は目標がはっきりしないような走り方はしません。空を打つような拳闘もしません。

— Iコリント 9：27 —

むしろ、(ここへ) 私は自分のからだを打ちたたいて服従させます。ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分自身が失格者にならないようにするためです。

この冠が何なのか、わかりますか？ それは、肉に捕らわれず、肉体にあって自らを律することです。これは肉の欲ではなく、御霊を養う意図的な行いです。これは性的不道德だけでなく、あらゆることに当てはまります。しかし、この点を指摘するために、使徒パウロが使う文脈を理解する必要があります。留意ください。彼が自分の体を律する決意が、オリンピック選手がレースに向けて練習し、走るときに見せる決意と同じだと比喻しています。私が間違っていなければ、オリンピックは4年に1度ですよ？ それについて考えてみてください。誰が3年間、その間に練習をし、負けるために頑張りますか？ しかし、そのようなレースでは、彼らは滅びゆく冠のために他の選手と対戦します。しかし、この自制心というレースは、私たち皆が個人として走るレースです。主が私たちの努力を判断されます。霊的オリンピック選手のように自らを律するのか？ それとも、私たちは負けてしまうのか？ 使徒パウロが言う「失格になる」というのは、私たち全員にとって衝撃的な筈です。しかし特に、神の御言葉を教え、宣べ伝える者にとってはそうです。その理由のひとつは、私たちはより高い基準で裁かれます。聖書がそれを語っていないからいいのに。取り除ける行があるなら、取り除いてください。—(笑)—

それが意味することは何か？ つまり、神に仕える者が失格者となるには、肉的愚行と愚かさがほんの少しあればいいのです。これは、「伝道者の書」に書かれていることも補完します。もうまた1つ (汗)。

10章1節です。神の御言葉はこうです。

— 伝道者の書 10：1 —

死んだハエは、調香師の香油を臭くし、腐らせる。少しの愚かさは、知恵や栄誉よりも重い。

私はこう言いましょ。自分の人生を、常に顕微鏡で見られながら生きるのは非常に難しいです決して簡単なことではありません。しかし、神は、私にこれを有利に使う方法を教えられ今も教え続けておられます。神の御言葉が明かす、主のご計画全てを教える多くの者は嫌われ、他のクリスチャンからさえも憎まれます。神の御言葉は真理です。空の鳥が、警戒が必要な人物の言葉を持ち帰る時は、彼らは不当にあなたに敵対したゆえであり、彼らに注意してください。毎週毎週、そのような中で敵を愛し、愛し続け、良くあしらわねばなりません。失敗にふさわしいちょっとした愚行が起こることほど彼らが喜ぶことは他にありません。ですから、それが動機にならねばなりません。それが、私を主にしがみつかせ続けます。より主に献身するようになるために。彼らに喜びを与えるため私は、そんなことは許しません。あなたが、失敗が起こることを探し、望み、祈っている間にも、分かっているのですよ、私は、あなたのために祈っているのです。次のリストにあるのは「喜びの冠」です。「第一テサロニケ人への手紙 2章19節～20節」神の御言葉はこうです。

ー Iテサロニケ 2：19 ー

私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのは、いったいだれでしょうか。あなたがたではありませんか。

ー Iテサロニケ 2：20 ー

あなたがたこそ私たちの栄光であり、喜びなのです。

さて、これにおいて、使徒パウロは、テサロニケの人々にいくつか述べています。まず第一に、パウロは、彼らの主への愛にとっても歓喜し、彼の働きが決して無駄になっていないと確証します。主は、使徒パウロに、改宗者が主の恵みと知識によって成長するのを見守ることを許され、彼らが弟子となるのを見せられました。彼らは、影響を受けた使徒パウロによって弟子とされ、パウロの努力のおかげで、靈的に成長しました。今、このテサロニケの信徒たちが主の御前に出るとき、主のために彼らを導き、彼らを弟子とした使徒パウロは、この喜びの冠を受けるために立ちます。つまり、この冠は、主のために魂を獲得し、弟子を生み出すことと関連します。覚えておいてください。私たちの光を輝かすことです。私たちの誰も、教会の開拓者、長老、牧師や助祭になる必要はありません。福音のメッセージ自体で、十分です。質問は、私たちはそれを宣言するのに十分な大胆さがあるのか？ それが質問です。

または、私たち自身が、それを宣言する立場にいますか？ 他の質問です。

私たちが、最後に御言葉の種を落とした所に戻って、御言葉の種の世話をし、その成長過程を助けたのはいつになりますか？ 最近、弟子になる事ついて話しますよね。理由があります。誰だったか思い出せませんが、新生したクリスチャンで、新生したのです。あなたは生まれながらにして大人ですか？ は？ 前回私が確認した時は、違いました。あなたが大人で生まれたなら、ここに来てください。じっくり話しましょう。ー (笑) ー ポイントは、プロセスがある事。ですから、あなたが生まれ変わったら、自動的に、Xと同じレベルにはなれません。彼らは弟子と呼ばれます。聞いてください。卒業のレベルがあります。私たちは、人々が改宗する時が大好きですが、それから、そのままにします。「自分たちで養ってね〜」で彼らは飢えています。でしょ？ 改宗させるだけでは、誰も弟子にいません。使徒パウロはそれを示します。パウロは彼らの所へ戻って、訪問し、彼らの靈的健康状態を確認しました。私たちはそれをしますか？ クリスチャンばかりと付き合っているとそれはとても難しいです。誰を弟子にしますか？ あなたは本当に誰のために奉仕しているのですか？ 今は、知識の競争です。知恵がないとそうなります。主は私たちに機会を与えられます。私たちはそれに敏感でなければなりません。そういう機会、主がすでに備えられたものと常に同じです。それが主のものだとわかる方法です。私たちはただ主を信頼し、その召しに従順である必要があります。「箴言」11章30節です。神の御言葉はこうです。

ー 箴言 11：30ー

正しい人の結ぶ実はいのちの木。知恵のある者は人の心をとらえる。

では、次の冠は「義の冠」です。「第二テモテへの手紙」4章7節～8節に書かれています。神の御言葉はこうです。

ー IIテモテ 4：7 ー

私は勇敢に戦い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。

ー IIテモテ 4：8 ー

あとは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。その日には、正しいさばき主である主が、それを私に授けてくださいます。私だけでなく、主の現れを慕い求めている人には、だれにでも授けてく

ださるのです。

おお、深くなってきましたね？ 使徒パウロの証人としての完全性を示すため、私はこの 2 つの節と一緒にしました。この御言葉は、私たち皆が奮い立って言うべきです。

「善い戦いをし、レースを完走し、信仰を守り、義の栄冠が待ちうけている事を知る。」

どのようにわかるのか？ 私は、主の現われを待ち望むからです。それが私の知る方法です。使徒パウロの人生を見てください。彼は、イエスはもうすぐに来られると思っていました。月曜日にでも。それが彼の歩み方です。彼は、イエスが戻られ、自分がその召しに忠実なところを見ていただきたかった。私たちは親として、子ども達に言いますね。「それとこれをしていなさいよ。帰ったら、何かがあるからね。あなたにお土産を持って帰ります。これをしておいたら、マクドナルドを持って帰ってくるよ。」— (笑) — でしょ？ その子どもが何をするかわかりますね？ 私の子ども時代を思い出します。「何？ これするの？」 終わったら、戻ってくるのを待つだけでした。「え～もう 11時半だ～。」 でしょ？

パウロはイエスに期待する人生を送りました。

質問：私たちはどうですか？

私たち皆がイエスを期待するなら、私たちは善い戦いをし、信仰を守り、世を守るために戦う戦いはしません。このままでは、この世は破滅します。この世が修復されるのを待ち望むのではなく、主の現われを切望するのがよいでしょう。それは起こりません。自分が主の現われを切望しているとどうやってわかるのか？ 簡単です。切望/熱望です。誰かを待ち焦がれると、いつもその人のことを考えます。その人についてを話し、その人と一緒にいるのを望み、その人が来るのを楽しみに待ちます。久しぶりに会う人が家に来るときを考えてみてください。すべて掃除して片付けます。あなたの心がそう感じないなら、問題があります。

次の冠は「栄光の冠」です。「第一ペテロの手紙 5 章 2 節～4 節」、神の御言葉はこうです。

— I ペテロ 5 : 2 —

あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを牧しなさい。強制されてではなく、神に従って自発的に、また卑しい利得を求めてではなく、心を込めて世話をしなさい。

— I ペテロ 5 : 3 —

割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。

— I ペテロ 5 : 4 —

そうすれば、大牧者が現れるときに、あなたがたは、しばむことのない栄光の冠をいただくこととなります。

この冠は、神の群れの指導者に向けてです。神の群れは、神の群れです。それは指導者のものではありません。多くの教会が、この部分を忘れているようです。はい、彼らは神の御言葉に反した方法で指導したりします。実際、「エゼキエル書」34 章には、羊飼いたちに呪いがかけられます。彼らのために啓示されました。彼らは、その権威を利用して人々を抑圧します。彼らは、神の御言葉を教えませんでした。彼らは自分たちの利益のために嘘をつきました。彼らは生きた模範となるのではなく、群れを混乱させ、散り散りにしました。主からの呪いは、遊びではありません。この監督という召しは、最も危険な召しで、この立場に召されたすべての人に恐れを抱かせます。神は、この召しが危険だと知っておられます。それが、主がこの「栄光の冠」を、それを忠実に実行する者に与えられる理由です。この召しは誰にでもありませんが、あなた方のうち何人かは召されるかもしれません。警告させてください。召しを受けた

ら、これだけは知っておいてください。敵は、あなたの人生に地獄を繰り広げます。友情は消え、家族は他人になり、嘲笑は尽きることがありません。自分の時間はほとんどなくなります。夜？ 休めません。体は？ おお、2倍早く年を取ります。そこから逃れる安全策はありません。あなたの肉親が標的になるでしょう。厳しい決断を下すたびに不当に訴えられます。あなたが知ることのためによく泣くことになります。あなたの肉にとげが増えます。本当の休日は、あなたが死ぬときです。誰がこの働きを望みますか？ これをするように召されたとき、人は、主にしがみつくと以外にどんな選択肢がありますか？ その間ずっと、神はご忠実であられます。そして会衆の皆さん、だからといって、言いません。「おお、かわいそうな私。」

違います。私にはあなたに対して責任があります。私たちみんな。遠慮することなく発言し、私たちに責任を負わせ続けてください。ただ、私たちのために祈ってください。忘れないでいただきたいのは、私はただのアシスタント（副牧師）です。JD牧師が経験していることを考えてください。あなたには決してわかりません。

最後の冠は「いのちの冠」です。この冠には、聖書に基づき2つの資格者がいるようです。1つ目は「ヤコブの手紙1章12節」、神の御言葉はこう書かれています。

ー ヤコブ 1：12 ー

試練に耐える人は幸いです。耐え抜いた人は、神を愛する者たちに約束された、いのちの冠を受けるからです。

この冠に完璧にぴったりです。人生そのものが誘惑と試練に満ち、私たち自身では、これらの試練にうまく耐えられません。できません。いつかの時点で、制圧されます。時間の問題です。あらゆる試練を乗り越え、私たちを支え導いてくださる主の御言葉を用いて、絶えず祈り続けなければなりません。この聖句の最も重要な点を見落とさないでください。

「神を愛する者たちに約束された、いのちの冠を受けるからです。」（ヤコブ1：12参照）

私たちは皆、主を愛していると思います。私たちがそう言うとき、それは本心だと思います。主に向かって叫ぶとき、私たちは真剣だと思います。しかし、このいのちの栄冠のために、主が求める愛を、おお、示さねばなりません。「ヨハネの福音書14章15節」、神の御言葉はこうです。

ー ヨハネ 14：15 ー

もしわたしを愛しているなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。

これらの戒めは、主の御教えであり、私たちがどのように生きるべきかを主の御言葉が指し示します。律法の話じゃありません。私たちが話しているのは、神の御言葉が示す、主の全御計画についてです。二大の戒めについてはどうですか？ 私たちは、神の口から発せられるすべての御言葉によって生きています。それはすべて、私たちの人生の青写真に帰結します。ですから、Aという状況に陥ったとき、神の御言葉に従って状況に対応する。それを生涯を通じてする。それが主の戒めを守ることです。私たちは成長し、学ぶことで、より多くの可能性を手にできます。再度、私たちの人生は来たる御国のための大きな試験です。2つ目の資格者は「ヨハネの黙示録2章10節」、神の御言葉はこうです。

ー 黙示録 2：10 ー

あなたが受けようとしている苦しみを、何も恐れることはない。見よ。悪魔は試すために、あなたがたのうちのだれかを牢に投げ込もうとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあう。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与える。

いのちの冠を手にするこの資格者は、誰でもというわけではありません。私たちは皆、永遠のいのちを貰っていますが、皆がこの冠を獲得するわけではありません。それがわかりますか？ これは、イエスの御名のために殺された者に与えられます。それがこれです。イエスは、この冠を受けるため死に至るまで忠実であることを、彼らに奨励されたでしょう。イエスの御名のために殉教に直面するどのクリスチャンでも同様です。

ここでのメッセージは：命を守るために信仰を妥協してはならない。いのちの冠を失うことになる。「救い」ではありません。もしも？「救いではありません。」多くの人がこれを救いと結びつけて混乱します。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、「いのちの冠」というタイトルの永遠の冠が待っています。終わりに近づくにつれて、私たちがこれから読むこと、この神のご性質を思いと心に確実に焼き付けたいのです。これは「申命記 32 章 3 節～4 節」に書かれています。神の御言葉はこうです。

— 申命記 32 : 3 —

まことに私は主の御名を告げ知らせる。栄光を私たちの神に帰せよ。

— 申命記 32 : 4 —

主は岩。主のみわざは完全。まことに主の道はみな正しい。主は真実な神で偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

私たちすべてが裁かれるとき、それは私たちが知るどんな正義をも超える方法で行われます。私たちの神は公正/義です。いいえはありません。「うーん、でも、なんだ、でも、おい、どうなんだ？」いいえ。公正です。私たちの神がどれほど愛に満ちたお方か、本当に信じられません。私たちが皆、悪であるとしても、主は、私たちの誰にも値しない宝で報いてくださいます。

忘れてはならないのは： 私たちは自分たち自身で生み出すことはできません。

できません。何かわかりますか？ その必要さえありません。私たちの多くは、毎日毎日、迂回して報酬を得ています。私たちは皆、「山頂の垂訓」（マタイ 5 : 2-12 参照）に従うだけで、

「... は幸いです。さあ、愛する者たちよ。」その全てのポイントは、これが現実だということです。

イエスは言われました。「見よ、わたしはすぐに来る。それぞれの行いに応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。」（黙示録 22 : 12 参照）

主の子どもである私たち一人ひとりが、自分自身の救いを鍛錬するために、残されたこの時間を有利に活用しますように。今、その違いがわかりますか？ それを鍛錬し成し遂げれば、私たちの王から正当な報いをいただくチャンスがあります。しかし、もしあなたが信者でないなら、あなたの永遠の報酬は火の池です。悲しいのは、それも報いを獲得することだからです。それは、神が御自身を現されたときに、真理の生ける神を信じなかったことによって得ます。ただ外に出てください。神がおられることがわかります。それは明らかです。

その裁きの日には、誰も神にこう言えません。「おお、私は科学に騙されました。」そうはいきませんよ。神にこうも言えません。「たくさん宗教があって、どれを選べばいいのかわかりませんでした。」いいえ、そのようにはいきません。ご存知ですか？ 率直に言うと、あなたは今夜、死ぬかもしれません。あなたが真の生ける神を選ばなければ、あなたの魂は絶望の領域に入ります。希望がないからです。しかし今、あなたにはキリストのもとに来て、永遠のいのちを与えられるチャンスがあります。それはイエス・キリストの福音によって起こり得ます。イエス・キリストの福音とは、聖書に書いてある通り、キリストが私たちの罪のために死なれ、葬られ、聖書に書いてある通り、三日目によみがえられたことです。（第一コ

リント 15 章 1~4 節参照) 救われるのは、ABC くらいシンプルです。まずは何をすべきか？

A: 私たちは皆、罪びとで、救い主が必要だと認める。Acknowledge/認識する。

救い主はイエスです。

ー ローマ人への手紙 3 章 10 節 ー

「義人(正しい者)はいない。一人もいない。」

ー ローマ人への手紙 3 章 23 節 ー

(これです)「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たち全員： 罪の中に生まれました。

ローマ人への手紙 6 章 23 節です。「罪の報酬は...」最近確認しましたが、報酬は獲得するものです。

ー ローマ人への手紙 6 章 23 節 ー

「罪の報酬は死です。しかし神の賜物(贈り物)は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」

それが、A (Acknowledge/認める) です。

B は、B : Believe/信じる。C は、C : Confess/ (口で) 告白する。

ローマ人への手紙 10 章 9 節~10 節です。神の御言葉はこう書かれています。

ー ローマ人への手紙 10 章 9 節 ー

あなたの口でイエスは主と告白しあなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

ー ローマ人への手紙 10 章 10 節 ー

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

これが最もシンプルな救われる方法です。主が決して取り消されることのない報酬です。私はあなたにお勧めします。まだ救われていないなら、主に手を伸ばしてください。まだなら、そうしてください。神は私たちが皆、神と和解することを望んでおられます。これは確実な報酬です。そのチャンスは、いつまでも続きません。

ご起立ください。カポノ、上がってきてください。ご忍耐ありがとうございます。ご一緒に祈りましょう。おお、主よ、時に、私たちはお父様、どう祈ればいいのかわかりません。主よ、あなたが広められた御言葉を、耳にし、聞いたすべての人にこの時間を祝福してください。それが私たち全員の心を砕き、開き、内外から調べ、私たちがあなたに喜ばれる人生を送ることができますように。主よ、私たちはこれらの報酬を得たいです。あなたが私たちに道を示して下さいますように。そのような機会が訪れ、あなたが喜ばれるように、御言葉通り行える大胆さを持たせてください。ですから、主よ。私はただあなたに委ねます。ここから受け取ってください。そして、もう一度、私たちはあなたに誉れと栄光と賛美を捧げます。イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7